※当資料は、DWS グループが 2020 年 11 月 12 日に発表したニュースリリースをドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳したものです。

ニュースリリース

フランクフルト　　2020 年 11 月 12 日

DWSがESGアドバイザリーボードを設立

- ESG アドバイザリーボードは、ESG 戦略に対する助言・提言を行い、DWS が有する専門性を補完します。
- 主要なグローバル企業、学術機関、公的機関などの有識者が参加します。
- 国連グローバル・コンパクトの創設メンバーであり、事務局長を務めたゲオルグ・ケル（Georg Kell）氏、米 Apple 社のリサ・ジャクソン（Lisa Jackson）氏、国際農業開発基金（IFAD）のマリー・ハガ（Marie Haga）氏など、著名なメンバーで構成されます。

DWS は、包括的な ESG 戦略をさらに推進するための助言機関を設立しました。新設された ESG アドバイザリーボードは、様々な分野や業界における国際的に著名なサステナビリティの専門家 6 名で構成されており、DWS の ESG 戦略を加速させるために、最高経営責任者（CEO）および取締役会に積極的な助言を行います。

DWS の CEO であるアソカ・ヴァーマンは次のように述べています。「私たちは、資産運用業界における ESG のリーダーとしての役割を果たしたいと考えており、すでに ESG を当社のすべての活動の中核に据えています。今般、このように国際的に著名な専門家達と協力して、当社の ESG 戦略を前進させ、さらに加速させることができるようになったことは非常に喜ばしいことです。この新設された ESG アドバイザリーボードが、貴重な意見や指摘を与えてくれることを楽しみにしています。」

DWS の ESG アドバイザリーボードのメンバーは以下の通りです。

- ピーター・ダムガード・イェンセン（Peter Damgaard-Jensen）氏は、気候変動対応を企業に求める欧州の機関投資家団体である IIGCC（The Institutional Investors Group on Climate Change）の会長を務めています。デンマーク最大級の職業年金基金であるデンマーク年金生活ファンド（PKA）の元 CEO として、年金基金を代表してサステナビリティの確保に取り組んできました。

- マリー・ハガ（Marie Haga）氏は、国際農業開発基金（IFAD）のアソシエイト・ヴァイス・プレジデントを務めています。前職では、食糧安全保障に関する国際機関であるグローバル作物多様性トラスト（Global Crop Diversity Trust）の事務局長として、生物多様性と食料安全保障の分野で国際的な評価を得てきました。また、ノルウェーの国会議員を務め、3 度の閣僚経験を有しています。

- イオアニス・イオアヌ（Ioannis Ioannou）氏は、ロンドン・ビジネス・スクールの教授として戦略および起業家精神の教鞭を執っています。企業の持続可能性、ESG 統合、責任あるビジネスの分野で影響力を有し、論文等においても引用されることが多い学識者です。Reuters Events が主催する Ethical Corporation のアドバイザリーボード・メンバーを務めており、世界経済フォーラムの専門家ネットワークのメンバーでもあります。

- リサ・ジャクソン（Lisa P. Jackson）氏は、米 Apple 社の環境、政策、ソーシャル・イニシアティブ担当副社長として、同社の環境、教育政策、製品アクセシビリティ戦略をリードしています。バラク・オバマ前米国大統領の任命を受けて米国環境保護庁の長官を務めたこともあり、ESG のあらゆる分野に積極的に関与してきた長い実績を有します。

- ゲオルグ・ケル（Georg Kell）氏、共同議長
  持続可能な事業経営のための世界最大かつ最も重要なイニシアティブである国連グローバル・コンパクトの創設メンバーであり、事務局長を務めました。また、先進的な ESG および AI における実績を基にサステナブル投資、助言、データサービスを提供する金融テクノロジー企業である英アラベスク・グループの会長も務めています。DWS はパートナーとしてアラベスク・グループの子会社であるアラベスク AI とアラベスク S-Ray に出資しています。

- ロフィーン・クジパース（Roelfien Kuijpers）、共同議長
  DWS のグローバル ESG クライアント・オフィサーとして、ゲオルグ・ケル氏と共に、新設された ESG アドバイザリーボードの共同議長を務めます。また、前述の IIGCC の役員会メンバーでもあります。

共同議長のゲオルグ・ケル氏は次のように述べています。「持続可能な経営と持続可能な投資が融合することにより生み出される力に対して、私はこれまでも確固たる自信を持っていました。多様性に富む優秀なメンバーで構成されるこの ESG アドバイザリーボードは、DWS の取締役会との緊密な連携のもと、具体的かつ先進的な貢献を果たす組織として特徴付けられることでしょう。私たちは、持続可能な変革プロセスを自社に、そして顧客にもたらすという点で、DWS が世界をリードする資産運用会社の一社としてさらに強固な組織になることを目指しています。」

当ニュースリリースの原文（英語）はこちら

ご留意事項

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにDWSグループが作成・発行したものをドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳して提供しておりますが、正確性・完全性についてドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が責任を負うものではありません。日本語訳とオリジナル英文資料の内容に相違がある場合には、英文資料の内容を優先します。当資料に記載の見解や見通し等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

DWS グループ

DWS グループ（以下DWS）は、約7,590億ユーロ（2020年9月末時点）の運用資産残高を誇る世界有数の資産運用会社です。60年以上の運用実績を有し、ドイツおよびヨーロッパ各地、アメリカ、アジアにおいて優れた運用体制への評価を確立してきました。そして現在、DWSは世界のお客さまから、資産運用のあらゆる分野における総合的なソリューション、持続性および革新性を提供する運用会社として信頼を集めています。

DWSは個人および機関投資家のお客さまに対し、その強固な運用体制を基盤として、すべての主要な資産クラスへのアクセスと成長トレンドを適切に捉えた資産運用ソリューションを提供します。アクティブ、パッシブそしてオルタナティブ運用における多岐にわたる専門性と、ESG（環境、社会、企業統治）投資における積極的な取り組みは、お客さまの期待に応えるソリューションを提供する上で補完的な役割を果たします。エコノミスト、リサーチアナリスト、運用プロフェッショナルが有する専門性と現地に根ざした調査は、DWSのグローバル投資見通しである「CIO View」に集約され、それが戦略的な運用アプローチ策定の根幹となっています。

DWSでは約3,400人のスタッフが、一つのグローバル・チームの一員であるという高い意識を持ちつつ、各国・地域に精通する専門家として活躍しています。我々は資産運用に革新をもたらし、未来に向けた資産運用ビジネスを形作ることを目指しています。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第359号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社は、DWSグループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・公的年金・企業年金運用の長年にわたる経験、ノウハウ及び実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。